



2017 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第6戦 ツインリンクもてぎ2&4レース

TOHO Racing レースレポート
JSB1000クラス #104 山口 辰也

8月19日(土曜日) 天候：曇りのち雨 路面:ドライ
公式予選／8番手
8月20日(日曜日) 天候：曇り 路面:ドライ
決勝／6位
開催地：栃木県・ツインリンクもてぎ（1周=4.801379km）
入場者数：3万2000人（2日間合計）

鈴鹿8耐の興奮も冷めやらずに全日本ロードレース選手権第6戦ツインリンクもてぎ2&4レースを迎えた。今シーズンから投入しているHonda CBR1000RR SP2も、ようやく2017 TOHO Racingカラーとなり金曜日のART合同走行から走り始めた。

ツインリンクもてぎは、今シーズン2度目。ツインリンクもてぎ2&4レースとしてJSB1000クラスは初開催となっていたが、鈴鹿、そしてオートポリスとスーパーフォーミュラとの併催の2&4レースは、今年は、3回開催されることになっている。

6月の第4戦では、ブレーキングのスタビリティに問題を抱えていたため、金曜日は、1本目はドライ、2本目はウエットとなったがその安定性を出すために車体セットを進めて行った。

ノックアウト方式で行われた公式予選。まず全車が走るQ1では、リンクを2種類試し、いい感触だった方でQ2以降は走ることを選択。Q1、Q2と1分50秒台を記録していただに、Q3では、新品タイヤを履き、1分50秒台前半を狙っていた。タイムは、このレースウィークでベストの1分50秒348をマークするが、思うようにアベレージタイムを上げることができずに予選を終えていた。

決勝日朝のフリー走行では、違う方向性のセットを試してみるが、いいフィーリングが得られなかったため、予選のセットに戻してレースに臨むことを決断した。

ドライコンディションで23周で争われた決勝。山口は、まずまずのスタートを見せ8番手で2コーナーをクリアして行く。しかし5コーナーへのブレーキングでニュートラルに入ってしまう13番手までポジションを下げてしまう。オープニングラップのうちに2台をかわし、11番手で2周目に突入。そこから1台、また1台とかわして行き9周目に7番手に浮上。その後は、単独走行となりレース終盤にトップを走っていた選手が転倒。ポジションを一つ上げて6位でチェッカーフラッグを受けた

JSB1000 ライダー/監督 山口辰也コメント

「前戦のツインリンクもてぎラウンドで課題になっていたブレーキングのスタビリティを上げるためにチーム、KYBさんと悩みながらセットアップを進めて行きました。だいぶ、いい方向にきていますが、まだ詰め切れていない部分もあるので、次戦のオートポリスでは、さらに改善して上位を狙えるようにしたいと思っています。引き続き応援よろしくお願ひいたします」

チーフメカニック 戸井田剛コメント

「今回は事前テストがなく、想定していた気温まで上がらず、セットアップが思うように詰め切れないままレースを迎えてしまった感じでした。鈴鹿8耐後、マシンは安定して走るようになってきましたが、もっと上位を狙うためにも、全体的に底上げして行きたいと思っています。次戦のオートポリスも事前テストはありませんので、初日から、しっかりセットを進められるようにしたいですね」

総監督 福間勇二 コメント

「鈴鹿8耐をはさみ新型マシンもだんだんと形が出来てきていますが、まだまだ進めていきたい部分がありますので今大会で得たデータを活かし後半戦を戦っていきたいと思います。後半戦にはチームのホームコースである岡山戦もありますので、応援くださっている皆様の期待に応えるためにも、次戦オートポリスをしっかり戦っていきたいと思います」



株式会社 TOHO
TOHO Racing
担当:野口